

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Spoken English I		
英文授業科目名	Academic Spoken English I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	奥 浩昭		
居室	東1-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oku@hc.uec.ac.jp	<a href="http://www.oku.hc.uec.ac.jp/">http://www.oku.hc.uec.ac.jp/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p><b>【主題】</b></p> <p>1) 主としてニュースの英語を聴き、その大意を把握する。 2) 意見を平易な表現を用いて英語で書き、発表する。</p> <p><b>【達成目標】</b></p> <p>1) 英検2級レベルのニュースの英語を聞き、その大意を把握できる。 2) 述べたいと思うことの50%を、英検準2級レベルの英語で表現できる。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
<p>マーク・ピーターセン『心にとどく英語』（岩波新書） 松本茂『速読速聴英単語Core』（増進会出版社）</p>

【授業内容とその進め方】

- ・ 4～5名のグループを作る。
- ・ まずは、グループ内で、簡単な表現を用いて英語で会話をする自信をつけるための練習を行う。
- ・ 次に、グループ毎にテーマ(トピック)を選び、必要なデータを収集した上で調べた内容を要約し、さらに内容への評価を行う。
- ・ 『心にとどく英語』から、コミュニケーションに役立つ表現を学ぶ。  
『速読速聴英単語Core』から、リスニングとリーディングに役立つ表現を学ぶ。
- ・ 他に、会話に役立つ表現を紹介し、それを使った会話の練習を行う。
- ・ (教室外) ALC NetAcademy や「リズム学習」：言語自習室での学習。  
この学習は非常に重要です。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

【成績評価方法】

- ・ 予習：2割
- ・ 授業での発表：3割
- ・ レポート：2割
- ・ 試験：3割(中間1割・学期末2割)

【評価基準】

- ・ 上記達成目標に照らし合わせて行う。
- ・ 最低達成基準：次のレベルに達している。
  - 1) 5分間のスピーチで、思っていることの半分は表現できる。
  - 2) 英検準2級レベルのニュース英語を聞き、大意を把握できる。

【オフィスアワー：授業相談】

月・火5限：言語自習室(F101)で、主に英語学習の相談を受けます。

【学生へのメッセージ】

1) キャッチフレーズ

- ・ 使わなければものにならない。
- ・ If not now, when? If not here, where?  
(今しなくて、いつ? ここでしなくて、どこで?)

2) 学びの結果として、TOEIC試験(990点満点)で次の達成を。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 【1年前期末】500点 | 【1年後期末】550点 |
| 【2年前期末】600点 | 【2年後期末】650点 |
| 【3年前期末】700点 | 【3年後期末】750点 |

電気通信大学 平成20年度シラバス

【その他】
なし